

食中毒における病因物質の概要 (2020年度)

高木 由美香, 右田 雄二, 蔡 国喜, 山口 結奈, 田栗 利紹

Prevalence and Etiological Agents of Food Poisoning in Nagasaki (2020)

Yumika TAKAKI, Yuji MIGITA, Guoxi CAI, Yuina Yamaguchi
and Toshitsugu TAGURI

キーワード：食中毒, カンピロバクター・ジェジュニ, ノロウイルス, 黄色ブドウ球菌, アニサキス
Key words: Food poisoning, *Campylobacter jejuni*, Norovirus, *Staphylococcus aureus*, Anisakis

はじめに

1997年5月30日の食品衛生法施行規則の改正でノロウイルス (2003年8月29日同規則改正で小型球形ウイルスから名称変更) 及びその他のウイルスと腸管出血性大腸菌 (VT産生) が、1999年12月28日には同規則改正によりコレラ菌、赤痢菌、チフス菌、パラチフスA菌が、2012年12月28日にはクドア、ザルコシスティス、アニサキス及びその他の寄生虫が食中毒事件票に病因物質として追加された。これらの施行規則の改正により、ウイルス性食中毒が位置づけられるとともに、コレラ菌等の4菌種についても飲食に起因する健康被害発生時は、他の食中毒病因物質と同じ措置がとられるようになった。

本報告では、2020年度に発生した本県食中毒事例で検出された病因物質について報告する。

調査方法

長崎県生活衛生課が取りまとめた2020年度の食中毒発生状況 (長崎市及び佐世保市の発生届出分含む) により、主要病因物質 (細菌、ウイルス、寄生虫、自然毒及び化学物質等) ごとに事件数及び患者数を集計した。

各々の食中毒事例について、患者からの聞き取り情報、喫食状況及び細菌検査情報を県内の所轄保健所から収集した。

結果及び考察

長崎県内では5事例の食中毒の発生があった。発生事例の内訳を表1に示した。

1 細菌性食中毒

細菌性食中毒は、カンピロバクター属菌によるものが1事例、黄色ブドウ球菌によるものが1事例発生した。

カンピロバクター属菌による食中毒は、県央保健所管内 (事例No.1) で1事例発生した。本事例については、当センターで検査を実施した。有症者4名の検体が搬入され、すべてからカンピロバクター・ジェジュニが検出された。調理従事者3名からカンピロバクター属菌は検出されなかった。

黄色ブドウ球菌による食中毒は、対馬保健所管内で1事例発生した (事例No.3)。当センターに有症者便、従事者便、食材が搬入され、検査を実施した。有症者便13名中10名、食材から黄色ブドウ球菌が分離された。食材は共通食であった弁当の5区画中2区画から黄色ブドウ球菌が検出された。陽性となった12検体中10検体から分離された黄色ブドウ球菌は、エンテロトキシンA型、コアグラゼ型であった。本事例は飲食店で製造され、自治会から敬老の祝いに配布された弁当が原因と断定された。

表 1 長崎県内の食中毒発生状況および病因物質 (Apr.2020 ~ Mar.2021)

事例 No.	発生年月日	発生場所	摂食者数	患者数	原因施設	原因食品	病因物質	検出 / 検体数	検体 (由来)	備考
1	2020/7/19	大村市	7	7	飲食店	7/18に提供された食事	カンピロバクター・ジェジュニ	4/4 0/3	有症者便 従事者便	
2	2020/8/1	長崎市	不明	1	不明	不明	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出
3	2020/9/26	対馬市	53	25	飲食店	9/26に提供された弁当	黄色ブドウ球菌	10/13 0/5 2/5	有症者便 従事者便 食材	弁当内の食品14品を区画ごとに分け5検体とした
4	2020/12/16	川棚町	1479	90	飲食店	不明	ノロウイルス G .4	8/11 2/9	有症者便 従事者便	
5	2021/1/25	長崎市	3	1	不明	不明	アニサキス			医療機関で患者からアニサキスを抽出

本表は、県民生活部生活衛生課の食中毒発生状況一覧表（長崎市、佐世保市発生分含む）から作成した。
病因物質の検出数は、環境保健研究センター保健科対応事例のみとした。

2 ウイルス性食中毒

ノロウイルスによる食中毒は、県央保健所管内（事例No.4）で1事例発生した。原因と推定された弁当の製造をした施設は県央保健所管内の飲食店であったが、有症者は佐世保市や西彼保健所管内でも探知された。県央保健所から調理従事者9名および有症者2名、西彼保健所から有症者9名の検体が搬入され、当センターで検査を実施した。その結果、有症者11名中8名および従事者9名中2名からノロウイルスG .4が検出された。10名から得られた増幅産物のシーケンス解析を行った結果、解析可能であった塩基配列は10名ですべて一致した。

3 寄生虫性食中毒

アニサキスによる食中毒は長崎市保健所管内で2

事例発生した。いずれも医療機関でアニサキスが確認された。

また、3月にクドア・セブテンpunkタータ(以下クドア)による食中毒を疑う事例について、有症者およびヒラメの検体が搬入された。有症者便からクドアの遺伝子は検出されず、ヒラメは顕微鏡検査陰性、遺伝子検査結果は $4 \times 10^4 \text{コピ}^{-1}/\text{g}$ (陽性は $10^7 \text{コピ}^{-1}/\text{g}$ 以上)で陰性であった。

謝 辞

本調査を遂行するにあたり、種々の情報を提供していただいた長崎県生活衛生課、長崎市保健環境試験所、長崎市、佐世保市及び長崎県立各保健所の関係各位に深謝する。